

■新品種「きたくりん」の誕生の背景

近年、消費者の食の安全・安心に対する意識はますます高まっています。そのなか、「空育172号」という「いもち耐病性」が強く、農薬を節減して栽培できる新しい品種が誕生し、2013年2月に「きたくりん」として正式に品種登録されました。

※節減対象農薬使用回数が、当地慣行比5割減で栽培されたお米です。

■「きたくりん」の名称由来・米袋デザイン

「ふっくりんこ」の系統をもつ「北の大地のクリーンなお米」という特長・背景から「きたくりん」と名づけられました。



← 昨秋の「2012ホクレン大収穫祭」では、試験栽培米として先行販売し、予想を上回る販売実績を残しました。

■「きたくりん」の特長

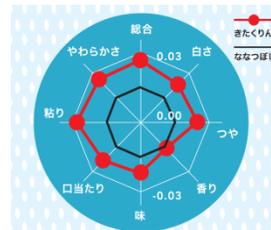
「きたくりん」は、地方独立行政法人北海道立総合研究機構 中央農業試験場で開発され、良食味米「ふっくりんこ」を父にもつ、強い耐病性と良食味を兼ね備えた品種で、その耐病性により防除が不要であるため安全・安心というメリットに加え、生育における手間を省けることから、生産効率の面でのメリットが期待できることが大きな強みです。

■「きたくりん」の食味評価について

(一財)日本穀物検定協会による米の食味ランキングで、北海道米代表品種「ななつぼし」は最高位の特A評価を頂いていますが、「きたくりん」は「ななつぼし」と同じか、やや優るといって高い食味評価となっています。

特に食感(粘り・やわらかさ)に優れています。

食味官能試験結果
「ななつぼし」との比較リーダーチャート
平成17年～23年、普及見込み地域の平均



地方独立行政法人 北海道立総合研究機構
中央農業試験場(平成24年度)